

# インスリン カートリッジ製剤のススメ



こんにちは。たかベクリニックです。

みなさんは、インスリンに詰め替えタイプの製剤があることをご存知でしょうか？

今回、是非ご紹介したいのが、詰め替えタイプのインスリン カートリッジ製剤です。

※2019年10月現在

## ●持効型溶解インスリン製剤「トレーバ」の場合



プレフィルド製剤

1本 3ml(300単位含有) 2,465 円

710 円差

カートリッジ製剤

3ml(300単位含有) 1,755 円

こちらのペンの中にカートリッジ製剤を入れて使います ⇒



## ●超速効型インスリン「ヒューマログ」の場合



プレフィルド製剤

1本 3ml(300 単位含有) 1,425 円

226 円差

カートリッジ製剤

3ml(300 単位含有) 1,199 円

こちらのペンの中にカートリッジ製剤を入れて使います ⇒



カートリッジ製剤に変えるとこんなメリットがあります！

### ★インスリン代が安くなる

(例)トレーバを1か月で2本使用(保険負担3割)の場合、カートリッジ製剤に変更した初月はペン代(3割負担900円)が発生するため474円高くなりますが、2か月目からはずっと426円インスリン代が安くなります。

インスリンをたくさん打っている方ほど、お薬代は安くなります!!

### ★0.5 単位ずつ打つことができる

1型糖尿病の方は、治療上の理由から0.5単位刻みで注射をすることをおすすめしている場合があります。

ヒューマログやノボラピッドのような、超速効型インスリン製剤は注射回数が多いため、カートリッジ製剤を使用の方が経済的にもおすすめです。

ノボラピッドのカートリッジ製剤の対応した『ノボペンエコー』というペンは、「最後に何単位を打ったのか、注射してからどれくらい時間が経過したのか」を記録するメモリー機能がついています。少しでも気になった方はどうぞお気軽にお尋ねください。



ノボペンエコー  
(ブルー、レッド)